

すみか新聞[®]



お気軽にお問合せ下さい!
 ☎092-892-2025
 メールは24時間受付中 ✉

® = 登録商標 第5446572号



イベントカレンダー

2012年2月24日
 お客様感謝祭



お知らせ

2012年2月24日
 新ホームページ公開

あけましておめでとうございます

昨年も地域の方々に大変お世話になりました。今年も快調なスタートを切ることができました。弊社は1月26日と27日、東京で家づくりの取り組みを表彰されます。当日は事務所をお休みとさせていただきます。本年もよろしく願いたします。



年明け初めの
 N様邸構造見学会
 in
 系島市南風台
 1月14日(土)15日(日)
 に開催しました。

仮設でエアコン1台を設置し、1階～2階まで暖めました。来場されたお客様は、玄関を開けてすぐ上着を脱ぐ光景も見られました。

右の新聞記事にあるように、急激な温度差が死に至る可能性を示唆しています。対策は、窓に室内から、もう一枚窓を増やして断熱性を上げる方法があり、居室の窓だけ施工する方法があります。

それと、お風呂のリフォームで、システムバスと洗面所2部屋に暖房を設置して、入浴時に温度差を少なくする事も可能です。

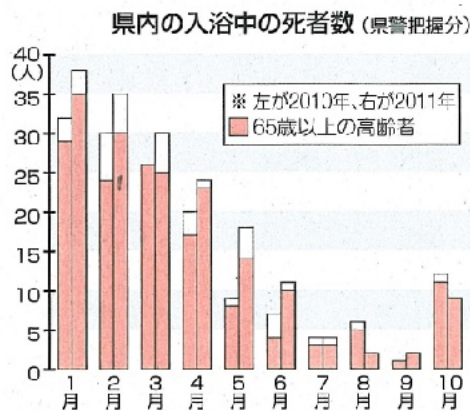


「リクシルのキャンペーン情報!!」
 期間 2011年12月1日～2012年3月末
 期間中、「インプラス」をご購入で、抽選でプレゼントが当たるキャンペーンです。
 詳細は株式会社リクシルのホームページをご覧ください。

<http://www.lixil.co.jp/>

「入浴死」多発 冬場に注意

急激な血圧変化、心臓に負担



高齢者が9割近く 脱衣所暖め予防を

入浴しようとして服を脱いだ際や、湯船に漬かったまま急死する「入浴死」が県内で増えている。県警によると、今年10月未現在で173人と、過去5年で最悪のペース。ほとんどが65歳以上の高齢者で、専門家は本格的な冬場を前に、十分な注意を呼び掛けている。

県警によると、県内 166、216人で推定28人も多い。また、173人のうち高齢者が153人と、9割近くを占めている。

心筋梗塞や脳梗塞を起すほか、浴槽内で意識を失って水死する例もあるという。「11月に入り、さらに増えている印象。1日に3人検視した日もある」と県警捜査1課。県警捜査1課の川口英

入浴死に詳しい神戸川口理事は「暖房が効かない寒風大風呂は特に危険。高血圧や糖尿病を持つ若年層も油断は禁物」と話している。(高橋俊彦)

散理事は「脱衣所と湯を待つ人も多いので浴室の温度差が大きい。特に注意が必要」と指摘。予防策として「脱衣所に暖房を入れ、浴室の温度差を小さくする」「湯温は40度以下にする」「半身浴でゆっくり体を温める」「高齢者の入浴時には様子を見に行く」などをアドバイスする。

県内 10月までに173人、最悪のペース

2011年11月27日
 熊本日日新聞の一面です。
 急激な温度差のある場所では気を付けましょう。